

技術士制度検討委員会 技術士資格活用委員会 の活動について

2019年10月3日

制度検討特別委員会

日本技術士会会長 寺井和弘

委員会の構成とミッション

文部科学省・第9期技術士分科会

「技術士制度改革に関する論点整理」~2019/01

日本技術士会・技術士制度検討委員会

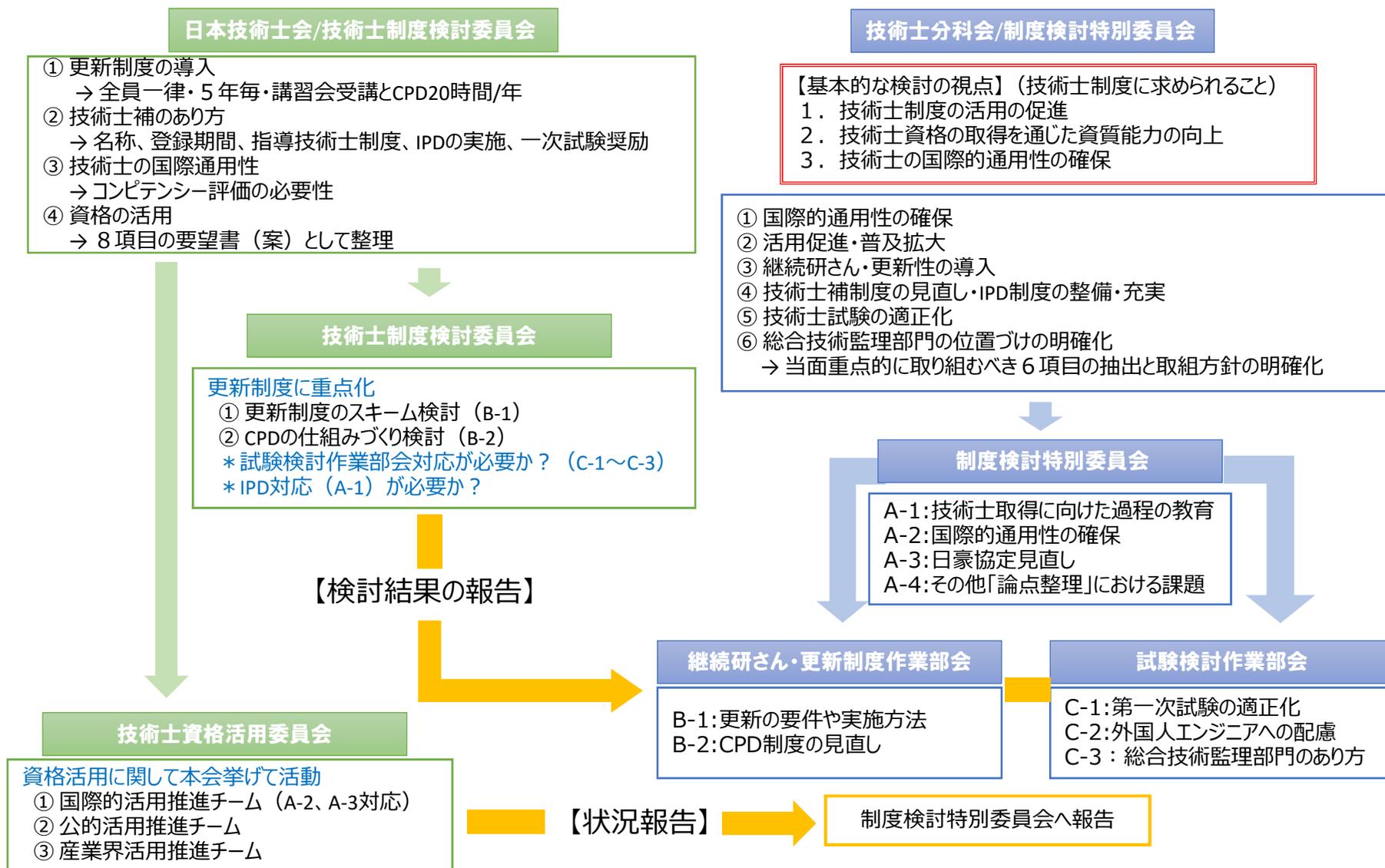
「技術士制度改革について（提言）最終報告」~2019/05

上記アウトプットを受け、

日本技術士会と技術士分科会制度検討特別委員会の
連携イメージを整理 → **次スライド参照**



制度検討特別委員会への報告のイメージ（案）



技術士制度検討委員会

(H27.5.12設置、第Ⅲ期：H31.7.2～)

技術士制度検討委員会委員

- 委員長：新屋 浩明 (建設、理事)
- 副委員長：中川 裕康 (建設)

【法的検討チーム】

TL：中川 裕康 (建設)
吉沢 清晴 (環境、社会委員長、理事)
東田 英毅 (生物工学、部会長)

【CPD検討チーム】

TL：宮元 均 (農業)
河津 宏志 (農業、理事)
河野 千代 (近畿／建設、理事)
立石 秀樹 (機械)
増野 正男 (建設)



技術士制度検討委員会

(H27.5.12設置、第Ⅲ期：H31.7.2～)

I：法的検討チームの活動内容

①「更新制度」の定義の明確化

- ・「更新」という用語の使用上の配慮（弁護士見解）
- ・「更新」という用語を使用する政策的意義

→ 導入する制度名称：「更新研修制度」とする。

- ・更新研修制度は更新講習とCPD時間数の確認より構成
- ・更新講習修了とCPD確認により更新研修修了者を規定
- ・更新研修修了者には更新研修修了証（5年有効）を発行
- ・技術士（更新研修修了 20〇〇年まで有効）を表示可
- ・日本技術士会で更新研修修了者名簿を整備

技術士制度検討委員会

(H27.5.12設置、第Ⅲ期：H31.7.2～)

I：法的検討チームの活動内容

② 法改正のスキーム検討

- ・現行法第四章において「義務」と「責務」が混在
- ・「責務」を第四章から削除し、義務と分離し新章を創設
- ・新章で「公益確保」、「資質向上」、「更新研修」を法定

③ 施行規則の改正

- ・更新講習内容（講習項目と講習時間）→CPD検討チーム
- ・CPD時間数とCPD内容 →CPD検討チーム
- ・更新研修修了証の発行
- ・更新講習の免除規定
- ・更新講習対象者への通知 等

技術士制度検討委員会

(H27.5.12設置、第Ⅲ期：H31.7.2～)

Ⅱ：CPD検討チームの活動内容

- ① 継続研鑽確認に必要なCPD時間数と内容
 - ・全技術部門に共通の必須CPD時間数
 - ・公的活用が進んでいる技術部門の努力目標時間数
- ② 継続研鑽活動の確認システムの構築
 - ・全国レベルで技術士のCPD登録と確認を支援する体制検討
- ③ 更新講習の実施細目の検討
 - ・更新講習内容、時間、開催事務に関する細目の検討
- ④ 日本技術士会としてのCPD支援事業の展開
 - ・CPD登録の効率化、CPD行事の再構築、会員サービス等



技術士資格活用委員会

(H31.3.13 ~)

技術士資格活用委員会委員

- 委員長 : 笠原 弘之 (電気電子 副会長)
- 副委員長 : 中川 裕康 (建設)

【国際的活用推進チーム】

TL : 林 雅弘 (情報工学、理事)
掛川 昌俊 (機械)
河村 裕二 (資源工学)
神田 淳 (船舶・海洋/航空・宇宙、部会長)
佐々木 聡 (原子力・放射線、理事、国際委員会)
澤木 龍夫 (経営工学)
高柳 和史 (水産、部会長)

【公的活用推進チーム】

TL : 長崎 均 (建設、部会長)
有瀧 宗重 (繊維)
内田 勉 (森林)
國弘 実 (農業)
黒澤 兵夫 (情報工学)
松山 正弘 (上下水道、部会長)

【産業界活用推進チーム】

TL : 笹口 裕昭
(金属、理事、社会委員会)
加藤 豊 (衛生工学)
木寺 幸司 (応用理学)
後藤 幸平 (化学)
武田 隆司 (電気電子、部会長)
濱中 拓郎 (建設)
春田 章博 (環境)
松村 嘉之 (生物工学)

技術士資格活用委員会

(H31.3.13 ~)

I 国際的活用推進チームの検討項目

- ・各国の技術者（技術士）の活用実態調査
- ・海外での技術士資格の活用方策の検討
- ・インフラ輸出に関連した技術士活用方策の検討

II 公的活用推進チームの検討項目

- ・現時点での公的活用要望項目の具体的推進
- ・公的活用要望項目の会員からの聴取と精査
- ・文部科学省と連携した関係省庁への働きかけ

III 産業界活用推進チームの検討項目

- ・産業界での資格活用の実態調査
- ・社会における技術士認知度向上策の検討および広報活動
- ・産業界における資格活用のロールモデルの構築
- ・大学と連携した技術士資格の普及と人材育成への貢献

技術士資格活用委員会

(H31.3.13 ~)

I : 国際的活用推進チームの活動内容

活動目標：技術士資格保有者の国際社会での活躍

- ・技術士が国際的な資格となるための要件の確認
- ・資格保有者が国際社会で活躍するための課題の明確化
- ・諸外国における職業資格とエンジニア資格との関係整理
- ・インフラ輸出を推進するための技術士資格活用方策提案

II : 公的活用推進チームの活動内容

活動目標：公的活用の領域拡大と深化

- ・各部会からの公的活用要望項目の精査
- ・関係省庁所掌事項との関係で目玉となる活用項目の提案
- ・文部科学省（議連）と連携した関係省庁への働きかけ

技術士資格活用委員会

(H31.3.13 ~)

Ⅲ：産業界活用推進チームの活動内容

活動目標：社会で求められる技術者が技術士であることを目指す

- ・技術士コンピテンシーを活かした活動事例の整理
- ・産業界が求める技術者像に見あう技術士のアピール
 - ① 製品の安全・安心の確保への貢献
 - ② Society5.0に向けた貢献
 - ③ 持続可能社会形成への貢献
- ・大学と連携した技術者教育、育成への貢献

- 応援団の組織（産業界・議連・技術士分科会）
企業・経産省へのアプローチと普及啓発
 - ・ 総合技術監理部門の改革
 - ・
 - ・
 - ・
 - ・
 - ・